

◎試験範囲

- a) 生物の分類(仲間分けの仕方, 考え方を問う問題)
 - b) 光とレンズ・「せぼねのある動物たち」
 - c) 授業で使用したプリント類全て
- ※さらに, 授業で取り上げたことがらやそれに関連する内容全て

◎学習のポイント

- a) 教科書 42~44 と 58~59, 及び 66~71 ページの関連する部分
145~162 ページ, 及び 188~193 ページの関連する部分
- b) 確認から発展へ [10]1 光の世界(1); [11]1 光の世界(2)
- c) 基本と活用ブック 9~16 ページ・教科書 10-71 ページ

○予想される問題

◎は最重要, ○もしっかり復習しよう!

※考え方を説明する問題, 作図問題がたくさん出題されるので, よく復習しておくこと。

- ◎仲間分けの仕方について考え方を説明する問題
- ◎光の進む道筋についての基本的な語句
- ◎はね返る光の進み方とその作図問題
- ◎折れ曲がる光の進み方とその作図問題
- 正反射と乱反射, 全反射
- ◎鏡, 半円ガラス, 直方体ガラス, プリズムに当たった光の道筋の作図問題
- ◎凸レンズについての基本的な語句
- ◎物体が焦点の内側・外側にあるときに凸レンズによってできる像
- ◎凸レンズに当たった光の道筋の作図問題
- ◎ものが見えるにはどんなことが必要か, 考えを説明する問題

※連絡 【超重要】

- ・作図があるので, 定規(線引き, 三角定規も可)を準備すること。
ただし, 分度器の機能があるものを使ってはいけない。
- ・矢印を書くときは, →のように書き, 先端を三角形▲や△にしてはいけない。三角形になっているものは全て誤答, 0点として扱う。